

図書館だより

令和6年11月7日発行

11月号

郡山第五中学校 図書委員会

1-3 2-3

学校司書 渡邊 恵美



図書委員会では、読書週間のイベントとして「読書標語コンクール」と「しおりデザインコンクール」を行います。応募用紙を配りましたので、ぜひ参加してください。入賞者には特典があります！締切は11月8日金曜日です。



読書週間

10月27日～11月9日



「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」と1947年から開催。秋の深まる季節に本に親しみ、多くの人に読書の楽しさや大切さを知ってもらおうと「文化の日」を中心に2週間、全国各地で読書に関するイベントが行われます。

秋の夜長を本とともに



「秋の日はつるべおとし」。つるべというのは、井戸で水を汲むための綱を付けた桶などのこと。日が暮れるのがつるべを落とすように早く感じる秋は、夜が長いということでしょう。虫の声を聞きながら読書を楽しむのにぴったりです。

図書委員おすすめの本



この本は作者の雨穴さん「不動産ミステリー変な家」がyoutubeで公開しを元にした作品です。

大まかなあらすじはオカルト系フリーライターの雨穴が知人に間取りの相談を受けることから始まります。そして雨穴は家の間取りの不可解な場所に気付き、それを間取りに詳しい知人の栗原さんに相談することにします。そして二人はこの家の不可解な謎に気付きこの家の謎を解いていくという内容です。ぜひ気になった方は読んでみてください。



2-3



ドラえもん社会ワールド 日本と国際社会

ドラえもんとのび太が漫画で秘密道具を使いながら状況を説明して、物語が終わったらさらに詳しく、国についての諸事情の説明をするという本です。

物語の中でドラえもんやのび太がピンチになったりしてたくさんの面白い状況を楽しめ、その後に詳しく国の諸事情などを知れます。興味があれば読んでみてください。

1-3





星名 誠先生

地雷グリコ
青崎有吾



頼白高校では、文化祭の会場を愚煙試合のゲームの勝者で決める。愚煙試合は毎回ゲームを変えて競う。その一つがグリコ。昔からよくあるグリコのジャンケンのルールに加えて、45段の階段にそれぞれ3つの架空の地雷を設置する。地雷を踏むと10段下がらなければならない。

全部で5つのゲームがあるが、どれも相手との駆け引きに興奮、5つのゲームの抜け道を見つけられるかの心理ゲームストーリー。

酒井 淳先生

にぎやかな未来
筒井康隆



この本は、50年前以上に出版された本です。SFショートショート集で、読書が苦手な高校生の頃、友達に進められて読んだ本です。何と言っても1話1話が短く、わずか1ページだけの物語もありました。

奇想天外な内容ばかりで、夢中で読んだことを思い出します。今は絶版かもしれませんがぜひ図書館に入れてもらって、読んでほしいと思います。



不可能を可能にする大谷翔平120の思考



野球しようぜ!
大谷翔平ものがたり



きみを変える50の名言2期

MLB・ドジャースの大谷翔平選手がワールドシリーズ優勝を果たし世界一になりました！大谷選手の夢への挑戦や情熱、勇気や行動する力など本からも知ることができます。この機会にぜひ読んでみてください。(学校司書)